

令和5年度 教科年間計画

教科	国語	2年	使用	【教科書】新編 論理国語（東京書籍）
科目	論理国語	4単位	教材	【副教材】高校国語演習標準編

科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する・資質能力を育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	国語の知識や技能を身に付けることができている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養うことができている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知: 知識・技能 思: 思考力・判断力・表現力 主: 主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
・論理とは何か 1 つなげる力	1	○	読	○	・推論の仕方について理解を深め使っている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。	小テスト 振り返り シート
対話とは何か	3	○	読	○	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 ・積極的に筆者が述べる「おしゃべり」と「対話」の違いを捉え、自分の生活におけるコミュニケーションの在り方をまとめ、話し合おうとしている。	小テスト 振り返り シート
世界をつくり替えるために	4	○	読	○	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・粘り強く筆者の考える学ぶことの根拠や意味について理解し、学習課題に沿って自分自身との関連について考えをまとめ、話し合おうとしている。	小テスト 振り返り シート
最初のペンギン	3	○	読	○	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを捉え、要旨を把握している。 ・積極的にタイトルに象徴される筆者の考えを読み取り、これからの生き方について考えようとしている。	小テスト 振り返り シート
豊かさと生物多様性	3	○	読	○	・学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・粘り強く叙述に基づいて筆者の主張を的確に捉え、生物多様性の重要性和課題について、学習課題に沿ってまとめ、理解を深めようとしている。	小テスト 振り返り シート
ふしぎ」ということ	4	○	読	○	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 ・積極的に具体例を通して筆者が述べようとしている考えを読み取り、学習課題に沿って筆者の考える「物語」の捉え方を理解しようとしている。	小テスト 振り返り シート

資料を整理し、テーマを吟味しよう	10	○	書	○	・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・「書くこと」において、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 ・積極的にレポートを書くための資料の収集・整理の方法を理解し、学習の見通しをもって収集した資料の論点を整理してテーマを見直し、適切なテーマを設定しようとしている。	レポート
物語の外から	3				・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・「読むこと」において文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・積極的に筆者が述べる「自己」と「物語」の関係を捉え、自分の体験と結び付けながら考えをまとめ、理解を深めようとしている。	小テスト 振り返り シート
カフェの開店準備	4				・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・粘り強く具体例を通して筆者の思考をたどることでその考えを理解し、自分の経験を振り返って日常生活の在り方についてまとめ、話し合おうとしている。	小テスト 振り返り シート
前期中間考査	1	○	読			
学ぶことと人間の知恵	4	○	読	○	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・積極的に論理の展開を捉えて筆者の考えを理解し、人間の思考や学ぶことの意義について、コンピューターと比較することによって筆者の意図と自分の考えを整理し、話し合おうとしている。	小テスト 振り返り シート
ラップトップ抱えた「石器人」	4	○	読	○	・文の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・積極的に筆者の主張を事実との関係に注意しながら読み取り、人間の思考や脳の働きについて、考えを深めようとしている。	小テスト 振り返り シート
履歴書の書き方 手紙の書き方	10	○	書	○	・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式などについて理解を深めている。 ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、文章全体を整え、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	レポート

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
鏡としてのアンドロイド	3	○	読	○	- 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨を把握している。 - 進んで話題に注意して文章を読み、筆者の研究を踏まえた人間に対する考えを理解したうえで、自分の意見を述べようとしている。	小テスト 振り返りシート
ロボットが隣人になるとき	3	○	読	○	- 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、内容を解釈している。 - 積極的に筆者の哲学的な思考を、「自由意志を持ったロボットを作ることができる」ことが可能か否かを考えることを通して理解し、意見を述べようとしている。	小テスト 振り返りシート
思考の肺活量	4	○	読	○	- 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、多面的・多角的な視点から評価している。 - 粘り強く比喻によって表現された筆者の主張を読み取り、筆者の述べる「思考」のあるべき姿について理解を深めようとしている。	小テスト 振り返りシート
安心について	4	○	読	○	- 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 「読むこと」において、主張を支える根拠等を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性を吟味して内容を解釈している。 - 積極的に文章の展開を把握して筆者の考えを読み取り、筆者が捉えている「安心」の本質について考えを深め、まとめようとしている。	小テスト 振り返りシート
2 論証する力 3 要約する力	2	○	読	○	- 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 - 進んで演繹的な推論について理解し、広い意味での「論理」における言葉の関連性や文章構造について捉えようとしている。	小テスト 振り返りシート
前期期末考査	1	○	読			

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
仮説を立てて検証しよう	12	○	書	○	・主張とその前提や反証などの関係について理解を深めている。 ・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 ・積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し、情報を収集・整理し、分析することによって仮説の妥当性を判断し、検証の過程を文章にまとめようとしている。	小テスト 振り返りシート
言葉は「ものの名前」ではない	4	○	読	○	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨を把握している。 ・粘り強く具体例をもとに言語と認識の関係についての筆者の主張を読み取り、言葉の働きについて考えをまとめ、話し合おうとしている。	小テスト 振り返りシート
科学的「発見」とは	4	○	読	○	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、科学的視点に立った、ものの見方や考え方を理解しようとしている。	小テスト 振り返りシート
弱肉強食は自然の摂理か	4	○	読	○	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、多面的・多角的な視点から評価している。 ・積極的に筆者の提示する問題や根拠を、文章の論理展開や提示された資料をもとに筆者の主張を的確に理解し、その内容について話し合おうとしている。	小テスト 振り返りシート
複数の「わたし」	4	○	読	○	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性を吟味して内容を解釈している。 ・粘り強く筆者の挙げる考え方や事例が示すことを読み取り、筆者の言う「わたし」の捉え方について理解し、「わたし」に対する見方を広げようとしている。	小テスト 振り返りシート

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
知識における作者性と構造的性	4	○	読	○	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・粘り強く筆者の述べる「ネット情報」と「本」の違いを読み取り自身のインターネット上の情報の扱い方を振り返り、適切なネット情報の捉え方について話し合おうとしている。	小テスト 振り返りシート
後期中間考査	1	○	読			
資料を活用して論述しよう	12	○	書	○	・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味し、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 ・粘り強くテーマに沿った資料を収集・整理して論題設定し、資料の価値づけを行い、意見を明確にして論述しようとしている。	レポート
はじめに「言葉」がある	4	○	読	○	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・粘り強く筆者が述べる「ファッション」と「言葉」の関係を捉え、「働くこと」と「言葉」の関わりについて自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	小テスト 振り返りシート
楽しく働くこと、楽しく働くこと	4	○	読	○	・学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・進んで「楽しく働くこと」について、筆者の立場に基づく考えを理解し「働くよろこび」について考えをまとめ、話し合おうとしている。	小テスト 振り返りシート
ホンモノのお力ネの作り方	4	○	読	○	・学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・進んで筆者の示す問題提起と結論を具体例から読み取り、抽象的な「貨幣」というものの本質について、経済の仕組みとともに理解を深め、話し合おうとしている。	小テスト 振り返りシート

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
未来のありか	4	○	読	○	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを深めている。 - 粘り強く筆者の示す具体例や資料から論旨をたどり、筆者の主張を踏まえ、自分の考える「未来」について話し合い、自分自身の生き方についても考えを深めようとしている。	小テスト 振り返り シート
学年末考査	1	○	読			
資料を活用して論述しよう	8	○	書	○	・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味し、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 ・粘り強くテーマに沿った資料を収集・整理して論題設定し、資料の価値づけを行い、意見を明確にして論述しようとしている。	レポート
合計	140	書く領域：50 読む領域：90				

令和5年度 教科年間計画

教科	歴史歴史	2年	使用 教材	【教科書】明解 歴史総合（帝国書院）
科目	歴史総合	2単位		【副教材】明解 歴史総合ノート（帝国書院） 明解 歴史総合図説 シンフォニア（帝国書院）

科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を十分に理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているか。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを適切に活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを筋道を立てて効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的 に学習に 取り組む 態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深められているか。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深められているか。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深められているか。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画（評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度）

単元名	学習内容	時 数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評 価 方法
			知	思	主		
歴史の 扉	歴史と私たち	2			○	課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。	小テスト プリント
	歴史の特質と 資料	2	○			近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。	小テスト プリント
近代化 と私た ち	近代化への問い	3	○	○	○	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。	小テスト プリント
	江戸時代の日本と 結び付く世界	3	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	小テスト プリント
	欧米諸国における 近代化	3	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	小テスト プリント
	近代化の進展と国 民国家形成	4	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	小テスト プリント
前期中間考査		1	○	○			

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
近代化と私たち	アジア諸国の動揺と日本の開国	4	○		○	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。	小テスト プリント
	近代化が進む日本と東アジア	5	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	小テスト プリント
国際秩序の変化や大衆化と私たち	国際秩序の変化や大衆化への問い	3	○		○	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。	小テスト プリント
	第一次世界大戦と日本の対応	4	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	小テスト プリント
前期期末考查		1	○	○			

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
国際秩序の変化や大衆化と私たち	国際協調と大衆社会の広がり	5	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	小テスト プリント
	日本の行方と第二次世界大戦	5	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	小テスト プリント
	再出発する世界と日本	5	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	小テスト プリント
グローバル化と私たち	グローバル化への問い	3	○		○	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛憎、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。	小テスト プリント
後期中間考查		1	○	○			

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
グローバル化と私たち	冷戦で揺れる世界と日本	4	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	小テスト プリント
	多極化する世界	4	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	小テスト プリント
	グローバル化のなかの世界と日本	4	○	○		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。 近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	小テスト プリント
	現代的な諸課題の形成と展望	3		○	○	近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。	小テスト プリント
学年末考查		1	○	○			
時数合計		70					

令和5年度 教科年間計画

教科	数学	2年	使用	【教科書】最新数学Ⅱ（数研出版）
科目	数学Ⅱ	4単位	教材	【副教材】3ROUND 数学Ⅱ+B（数研出版）

科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

【評価の観点】

評価の観点		観点別学習状況の評価基準		
		A（十分満足できる）	B（おおむね満足できる）	C（努力を要する）
①知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけているか。	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈できている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養っているか。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養っている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養っている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善しようとする態度が養われているか。	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善しようとする態度が養っている。	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度が養っている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知:知識・技能 思:思考力・判断力・表現力 主:主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
式と証明	多項式の乗法と因数分解 二項定理 多項式の割り算 分数式の乗法・除法 分数式の加法・減法 恒等式	11	○	○		- 整式の除法、分数式、恒等式や証明の考え方や計算手順を正しく理解している。(知) - 計算方法と関連付け、式を多面的に考察している。(思)	小テスト
	等式の証明 不等式の証明 相加平均と相乗平均	8		○	○	- 実数の性質などを利用し、等式や不等式が成り立つことを理論的に考察し、証明している。(思) - 発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしている。(主)	小テスト グループ学習
複素数と方程式	複素数 2次方程式の解と判別式 解と係数の関係	9	○	○		- 複素数の概念について理解し、様々な計算ができる。(知) - 複素数という数の考え方や数々の定理・公式を把握し、利用できる。(思)	小テスト
	余剰の定理と因数定理 高次方程式の解法	6		○	○	- 因数定理について理解し、簡単な高次方程式についてその解を求めることができる。(思) - 発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしている。(主)	小テスト グループ学習
考查または単元テスト		1	○	○			
図形と方程式	直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2直線の平行と垂直 円の方程式 円と直線	17	○	○		- いろいろな図形を方程式を使って表現することができる。(知) - 座標平面上の図形の性質や位置関係について考察することができる。(思)	小テスト

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
図形と方程式	軌跡 不等式の表す領域 連立不等式と領域	10		○	○	- 軌跡について理解し、不等式の表す領域や境界条件を座標平面上に表すことができる。(思) - 発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしている。(主)	小テスト グループ学習
考查または単元テスト		1	○	○			
三角関数	一般角 弧度法 三角関数 三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式、不等式	14	○	○		- 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質やグラフの特徴について理解している。(知) - 三角関数の性質を、グラフの特徴とともに考察することができる。(思)	小テスト
	加法定理 加法定理の応用 三角関数の合成	9	○	○	○	- 加法定理などを用いて、さまざまな角度の三角比を求めることができる。(知) - 加法定理や2倍角の公式など多くの公式を正しく把握し、問題演習の際にその定理を利用できている。(思) - 発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしている。(主)	小テスト グループ学習
指数関数と対数関数	指数法則 指数関数とそのグラフ	10	○	○		- 指数の性質を正しく把握し、数々の定理・公式を正しく利用できる。(知) - 指数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。(思)	小テスト
	対数 対数の性質 対数関数とそのグラフ 常用対数	12	○	○	○	- 対数の性質を正しく把握し、数々の定理・公式を正しく利用できる。(知) - 指数・対数の関係を理解し様々な計算に利用できる。(思) - 発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしている。(主)	小テスト グループ学習
考查または単元テスト		1	○	○			

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
微分法 と積分 法	平均変化率と微分係数 導関数 いろいろな関数の微分 接線	7	○	○		- 微分概念を理解し、公式や性質を用いて導関数を求めることができる。(知) - 微分の意味を理解し、関数とその導関数の関係について考察することができる。(思)	小テスト
	関数の増減 関数の極大・極小 関数の最大・最小 方程式・不等式への応用	9		○	○	- 関数の増減を接線の傾きから考察することができる。(思) - 発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしているか。(主)	小テスト グループ 学習
	不定積分 定積分 面積	14	○	○		- 積分概念を理解し、不定積分や定積分を計算することができる。(知) - グラフで囲まれた部分の面積について定積分を用いて表現することができる。(思)	小テスト
考查または単元テスト		1	○	○			
合計		140	12	16	6		

令和5年度 教科年間計画

教科	数学	2年	使用	【教科書】最新数学B（数研出版）
科目	数学B	2単位	教材	【副教材】3ROUND 数学Ⅱ+B（数研出版）

科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

【評価の観点】

評価の観点		観点別学習状況の評価基準		
		A（十分満足できる）	B（おおむね満足できる）	C（努力を要する）
①知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけているか。	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈できている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	事象を数学的に表現し考察する力、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養っているか。	事象を数学的に表現し考察する力、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養っている。	事象を数学的に表現し考察する力を用いて、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決する力を養っている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善しようとする態度が養われているか。	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善しようとする態度が養われている。	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度が養っている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
数列	数列 等差数列 等差数列の和 等比数列 等比数列の和	8	○	○		- 数列の意味や性質を理解し、問題を解く際に利用できる。(知) - 数列の種類とそれぞれの性質や考え方を把握し、様々な問題に対応できる。(思)	小テスト
	いろいろな数列の和 階差数列	9	○	○		- いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。(知) - 数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。(思)	小テスト
考查または単元テスト		1	○	○			
数列	漸化式と一般項 数学的帰納法	9		○	○	- 式を適切に変形して、その数列の特徴を考察できる。(思) - 発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしているか。(主)	小テスト グループ学習
統計的な推測	確率変数と確率分布 確率変数の期待値 分散と標準偏差	6	○	○		- 確率変数とその分布について理解し、値を求めることができる。(知) - 確率変数の期待値、分散、標準偏差を用いて確率分布の特徴を考察することができる。(思)	小テスト
考查または単元テスト		1	○	○			
統計的な推測	二項分布 連続型確率変数 正規分布	9	○	○		- 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解することができる。(知) - 正規分布の特徴を理解し、さまざまな視点からとらえられる。(思)	小テスト グループ学習
	母集団と標本 標本平均の分布 母平均の推定 母比率の推定 仮説検定	7		○	○	- データを基に母集団の特徴や傾向を推測し、判断するとともに、表ホウ調査の方法や結果を考察することができる。(思) - 発展的な内容について、粘り強く考察し、問題解決を振り返って評価改善をしようとしているか。(主)	小テスト グループ学習
考查または単元テスト		1	○	○			

単元名	学習内容	時 数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
数 学 と 社 会 生 活	ごみの量の推定 シェアサイクル	6	○	○	○	- 日常生活における問題や社会問題を数 学的に考察するときの手順を理解して いる。(知) - 問題解決の過程や結果の妥当性につ いて批判的に考察したり、別の過程につ いて積極的に考察する。(思)(主)	小テスト グループ 学習
	偏差値 選挙における議席配分	5	○	○	○	- 偏差値の定義にあてはめて偏差値を求 めることができる。(知) - 最大剰余方式、アダムズ方式の特徴に ついて考察することができる。(思) - 社会で用いられる数値や指標について 興味・関心をもち、調べてみようとする。 (主)	小テスト グループ 学習
	移動平均 回帰直線、回帰曲線 尺度を変える	8	○	○		- 移動平均について理解し、これを求め ることができる、折れ線グラフで表現す ることができる。(知) - 回帰直線を表す方程式を用いて、観測 していないデータを予測することがで きる。(思)	小テスト グループ 学習
考查または単元テスト		1	○	○			
合 計		70	14	18	9		

令和5年度 教科年間計画

教科	理科	2年	使用	【教科書】 東京書籍 新編 生物基礎
科目	生物基礎	2単位	教材	【副教材】 東京書籍 新編 ニューサポート

科目の目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
① 知識・技能	生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を十分に身に付けている。	生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	基準に達していない
② 思考力 判断力 表現力	生物の共通性と多様性について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	生物の共通性と多様性について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に深く探究している。	生物の共通性と多様性について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	基準に達していない
③ 主体的に学習に取り組む態度	生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に深く探究しようとしている。	生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	基準に達していない

授業計画 (評価の観点の表し方 知:知識・技能 思:思考力・判断力・表現力 主:主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
1編 生物の 特徴 1章 生物の 多様性 と共通 性	1節 生物の多様性	3	○	○		・共通祖先から由来した生物は共通の特徴をもつことについて理解している。(知) ・実習1の脊椎動物の特徴の比較から、生物の共通性と起源の共有には関連性があることを見いだして考察している。(思)	確認テスト グループワーク
	2節 生物の共通性	4	○	○	○	・生物の多様性や共通性を正しく理解している。(知) ・生物の顕微鏡観察とDNAの抽出から、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして表現している。(思) ・実習2の結果を主体的に考察して表現しようとしている。(主)	確認テスト グループワーク 【実験】
	3節 細胞の特徴	2	○		○	・細胞の構造と真核細胞、原核細胞について理解している。(知) ・生物の多様性と共通性について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(主)	確認テスト グループワーク
1編 生物の 特徴 2章 生物と エネルギー	1節 生体とATP	2	○			・ATPが代謝におけるエネルギーの授受に必ず関係し、ATPの構造と生物が利用できるエネルギーが蓄えられている結合について理解している。(知)	確認テスト
	2節 酵素のはたらき	3	○			・実験から、酵素の基質特異性を見いだして表現している。(思) ・酵素の基本的な特徴を理解している。(知)	確認テスト グループワーク【実験】
	3節 呼吸と光合成	2				・代謝について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(思) ・呼吸と呼吸の概要を理解している。(知)	確認テスト グループワーク
前期中間考査		1					

2編 遺伝子と そのはた らき 1章 遺伝情報 とDNA	1節 生物と遺伝子	2	○			・遺伝情報やゲノムについて体系的に理解している。(知)	確認テスト
	2節 DNAの構造	3	○	○	○	・DNAの特徴について、塩基の相補性によって形成される2本鎖構造であること、塩基の配列が遺伝情報となることを理解している。(知) ・DNA模型の作製から、DNAの構造の規則性や関係性を見いだして表現している。(思) (主)	確認テスト グループワーク【実験】
	3節 DNAの複製と分配	3	○	○		・細胞周期の間にDNAの複製が行われ、分裂期にDNAが等しく分配され、結果としてどの細胞でも同じ遺伝情報をもつことを理解している。(知) ・DNAの構造について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(思)	確認テスト グループワーク

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
2 編 遺伝子とそ のはたらき 2 章 遺 伝情報と タンパク 質の合成	1 節 タンパク質	2	○			・タンパク質の構成単位や生体内での役割やはたらきについて理解している。(知)	確認テスト
	2 節 タンパク質と遺伝情報	3	○	○	○	・DNA の塩基配列から mRNA の塩基配列へ転写され、mRNA の塩基配列から tRNA を介してアミノ酸配列へと翻訳される情報の流れを理解している。(知) ・DNA の塩基配列と、それに対応するタンパク質のアミノ酸配列に関する資料から、DNA の塩基配列とアミノ酸配列の間にある関係性を見いだして表現している。(思)(主)	確認テスト グループワーク 【実験】
	3 節 細胞の分化と遺伝子	2	○	○		・個体を構成する細胞は遺伝的に同一だが、細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを理解している。(知) ・セントラルドグマについて、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(思)	確認テスト グループワーク
前期期末考査		1					

3 編 ヒトの体の調節 1 章 ヒトの体を調節するしくみ	1 節 体内環境	4	○			・体外環境と体内環境、体液の関係について理解している。体内での情報伝達の経路として、神経系・循環系・内分泌系があり、体内環境はさまざまな器官のはたらきによって保たれていることを理解している。(知)	確認テスト 【実験】
	2 節 神経系による情報伝達	3	○	○		・神経系の構成や情報伝達のしくみについて理解している。体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを理解している。脳の構造やおもなはたらきについて理解している。(知) ・実験の結果を主体的に考察して表現しようとしている。(思)(主)	確認テスト グループワーク 【実験】
	3 節 内分泌系による情報伝達	2	○		○	・内分泌腺や分泌されるホルモン、その作用について理解している。ホルモンの受容や機能するしくみについて理解している。フィードバックによって、ホルモンの分泌量が調節されていることを理解している。(思) ・内分泌系について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(主)	確認テスト グループワーク
	4 節 血糖濃度の調節	2	○	○	○	・食事の前後における血糖濃度と、血中のインスリン濃度、グルカゴン濃度の経時的変化を示す資料から、血糖濃度の変化とインスリン、グルカゴンのはたらきとの関係に気付き考察している。(思) ・実験の結果を主体的に考察して表現しようとしている。(主)	確認テスト グループワーク 【実験】

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
3編 ヒトの 体の調 節 2章 免疫の はたら き	1節 免疫のしくみ	2	○	○		- 食細胞などによる自然免疫やリンパ球による適応免疫が病原体の排除にはたらいっていることを理解している。血液凝固について、失血を防ぐことによって、体内環境を保つことに関わっていることを理解している。(知) - 白血球の一種である好中球の食作用の資料から、異物を細胞に取り込み、処理する能力をもつことに気づき、考察している。(思)	確認テスト グループワ ーク 【実験】
	2節 免疫の応用	2	○	○	○	- 一次応答と二次応答、免疫記憶を応用した予防接種のしくみを理解している。(知) - 一次応答と二次応答の抗体生産量の変化を示した資料から、同じ疾患に二度とかかりにくい理由に気づき、考察している。(思)(主)	確認テスト グループワ ーク 【実験】
	3節 免疫とさまざまな疾患	2	○	○		- アレルギー、自己免疫疾患、AIDSなどの疾患のメカニズムを理解している。(知) - 免疫について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(主)	確認テスト グループワ ーク
後期中間考査		1					

4編 生物の 多様性 と生態 系 1章 植生と 遷移	1節 身のまわりの植生	2	○	○	○	- 環境要因としての光と土壌の変化や特徴について理解している。(知) - 身近な植生と環境の観察から、植生と土壌、光の当たり方などの環境条件との関係に気づき、考察している。(思)(主)	確認テスト グループワ ーク
	2節 植生の遷移	3	○	○	○	- モデル的な遷移の過程を理解している。(知) - 自然災害の種類と一次遷移・二次遷移の関係を理解しようとしている。(思)(主)	確認テスト グループワ ーク
	3節 遷移とバイオーム	3	○	○	○	- 遷移の結果、気候に応じたバイオームが形成されることを理解している。(知) - 森林、草原、砂漠が成立する場所の年平均気温と年降水量を調べ、環境条件によって植生が異なることに気づき、考察している。(思)(主)	確認テスト グループワ ーク
4編 生物の 多様性 と生態 系 2章 生態系 と生物 の多様 性	1節 生態系における生物の多様性	2	○	○	○	- 環境と生態系の種多様性の関係について理解している。(知) - 生態系の中に多種類の生物が存在しており、出現する生物の種類数や個体数と環境との関係について見いだして考察している。(思)(主)	確認テスト グループワ ーク
	2節 生態系における生物間の関係	2	○	○	○	- 生態系の維持について理解している。(知) - 捕食と被食の関係が種多様性に関わることを見いだして考察している。(思)(主)	確認テスト グループワ ーク
	3節 生態系と人為的攪乱	2	○	○	○	- 生態系のバランスと人為的攪乱に関連づけて理解している。(知) - 多様な生物と環境が関係し合いながらバランスを保ち、攪乱が大きい場合にはバランスが崩れることに気づき考察している。(思)(主)	確認テスト グループワ ーク
	4節 生態系の保全	4	○	○	○	- 生態系の保全の重要性を理解している。生態サービスについて理解している。(知) - 環境アセスメントに関心を持ち、生態系の保全の重要性について考えようとしている。(主)	確認テスト グループワ ーク
学年末考査		1					
時数合計		70					

令和5年度 教科年間計画

教科	理科	2年	使用	【教科書】 東京書籍 新編 物理基礎
科目	物理基礎	2単位	教材	【副教材】 東京書籍 新編 ニューサポート

科目の目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
① 知識・技能	物理の特徴について、物理の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物理の特徴について、物理の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を十分に身に付けている。	物理の特徴について、物理の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	基準に達していない
② 思考力 判断力 表現力	物理の共通性と多様性について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	物理の共通性と多様性について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に深く探究している。	物理の共通性と多様性について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	基準に達していない
③ 主体的に学習に取り組む態度	物理の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	物理の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に深く探究しようとしている。	物理の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	基準に達していない

授業計画 (評価の観点の表し方 知:知識・技能 思:思考力・判断力・表現力 主:主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
1編 物体の運動とエネルギー 1章 運動の表し方	1節 運動の表し方	2	○	○		・運動している物体のようすを表す物理量のうち、時刻と時間の違い、位置や速さについて理解している。(知) ・運動のようすを表す量を用いて、地図アプリ等に表示させた自分の位置や運動を相手に伝える方法を考え、表現している。(思)	小テスト グループワーク
	2節 等速直線運動	2	○	○	○	・ストロボ写真から、その運動の特徴を考察し、グラフを用いて正確に表現している。(知) ・等速直線運動のv-tグラフ、x-tグラフの特徴を理解している。(思)	小テスト 【実験】
	3節 合成速度と相対速度	2	○		○	・動くものの上で動く物体の速度や動くものから見たほかの動いている物体の速度について理解している。(知) ・身近なスポーツに見られる合成速度や相対速度について、自分の体験等を踏まえて考えようとしている。(主)	小テスト グループワーク
	4節 直線運動の加速度	3	○	○	○	・等加速度直線運動について、運動の特徴やグラフで表したときの特徴を理解している。(知) ・斜面を下る物体の速度の変化を調べるための方法や分析のしかたを自分なりに考え、その考えに基づいて実験を実施している。(思)(主)	小テスト 【実験】
	5節 落体の運動	3	○		○	・自由落下運動がどのような運動か理解し、その加速度について理解している。(知) ・等加速度直線運動の式から、自由落下運動を表す式の導き方を理解し、表現している。(主)	小テスト 【実験】
前期中間考查		1					
1編 物体の運動とエネルギー 2章 さまざまな力とそれはたらき	1節 力とつり合い	3	○	○	○	・力が物体にはたらくとき、物体の運動のようすが変わったり物体が変形したりすることを理解し、力の3要素と、2つの力が物体にはたらくときの力のつり合いの条件について理解している。(知) ・力のつり合いの学習をもとに、斜面上に置かれている物体にはたらく力の存在を推察している。(思)(主)	グループワーク 【実験】
	2節 運動の法則	5	○	○	○	・運動の3つの法則について基本的な原理を理解している。(知) ・物体にはたらく力、物体に生じる加速度、物体の質量についての関係を定量的に調べるためにどのような実験を行えばよいか考え、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主)	小テスト グループワーク 【実験】
	3節 さまざまな運動とはたらく力	4	○	○		・物体の落下運動を運動方程式の身近な適用例として理解し、物体にはたらく重力の大きさを理解している。(知) ・物体が空気中を落下する際に関係しそうな物理量を自分なりに考えたり、簡単な実験を通して科学的に表現したりしている。(思)	【実験】
前期期末考查		1					

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
1編 物体の運動とエネルギー 3章 力学的エネルギー	1節 エネルギーと仕事	2	○			・仕事とエネルギーの関係、仕事の原理について理解している。(知)	確認テスト
	2節 運動エネルギーと位置エネルギー	2	○	○	○	・運動エネルギーについて理解し、定量的に表すことができる。また、仕事と運動エネルギーの関係について理解している。(知) ・重力による位置エネルギーと弾性力による位置エネルギーについて理解し、定量的に表すことができる。(思)(主)	確認テスト グループワーク 【実験】
	3節 力学的エネルギーの保存	2	○	○		・力学的エネルギー保存の法則と、力学的エネルギーが保存される条件について理解している。(知) ・運動エネルギーと位置エネルギーが同時に変化する運動について、それらの関係がどうなっているかを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)	確認テスト グループワーク
	4節 力学的エネルギーが保存されない場合	2	○			・力学的エネルギーが保存されない条件を理解している。また、熱などまで含めれば全てのエネルギーが保存されている(エネルギー保存の法則が成り立つ)ことを理解している。(知)	確認テスト
2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱	1節 温度と熱	2	○			・熱と温度について、原子や分子の熱運動の観点から定性的に理解している。(知) ・熱がエネルギーであることを理解し、物質の三態と潜熱について理解している。(知)	確認テスト
	2節 熱の移動と保存	2	○	○	○	・高温の物体が失った熱量と低温の物体が受け取った熱量との関係(熱量の保存)について理解している。(知) ・物質の種類によって温度変化に必要な熱量が異なるかを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主)	確認テスト グループワーク 【実験】
	3節 熱と仕事	2	○		○	・内部エネルギーの変化と物体に加えた熱量、物体にした仕事との関係(熱力学第1法則)を理解している。(知) ・日常の経験から温度を上げる原因について自分なりに考え、表現しようとしている。(主)	確認テスト グループワーク
	4節 熱効率と不可逆変化	2	○	○	○	・熱効率と可逆変化、不可逆変化について理解し、熱効率が1以上の熱機関が存在しないことを理解している。(思)	確認テスト グループワーク 【実験】
後期中間考査		1					

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
2編 さまざまな物理現象とエネルギー 2章 波	1節 波を表す	2	○	○		- 波の速さ、周期、振動数、波長の関係を理解している。振動の方向の違いによる縦波や横波を理解し、縦波のグラフでの表し方を理解している。(知) - P波やS波について考え、自分なりにそれらの相違点について考え、表現している。(思)	確認テスト グループワーク 【実験】
	2節 波の重ね合わせ	2	○	○	○	- 波の独立性と波の重ね合わせの原理について理解している。(知) - 波が重なって定在波ができるようすを、作図を通して表現している。(思)(主)	確認テスト グループワーク
	3節 音の性質	2	○			音の3要素、空気中での音の速さについて理解している。また、うなりの生じる理由や、1秒間あたりに生じるうなりの回数について理解している。(知)	確認テスト
	4節 弦の固有振動	3	○	○	○	- 共鳴がどのようなときに起こるのか、固有振動数との関係を理解している。(知) - 固有振動の特徴を調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主)	確認テスト 【実験】
	5節 気柱の固有振動	3	○	○	○	- 気柱内に生じる定在波のようすを、閉管、開管それぞれの場合について理解している。(知) - 気柱内に定在波が生じると予測し、それを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主)	確認テスト 【実験】
2編 さまざまな物理現象とエネルギー 3章 電気	1節 電流と電圧	2	○			静電気や原子構造、電流の大きさの表し方や向き、電圧について理解している。(知)	確認テスト グループワーク
	2節 電気抵抗	3		○		- オームの法則について理解している。(知) - 抵抗の形状と抵抗値の大きさにどのような関係があるか仮説を立て、それを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主)	
	3節 抵抗の接続	3	○	○	○	2つの抵抗を直列接続、もしくは並列接続したときの合成抵抗について理解している。(知)	確認テスト グループワーク
	4節 電気とエネルギー	2	○			電力と電力量、ジュール熱について理解している。(知)	確認テスト
	5節 直流と交流	2	○	○	○	- 電磁誘導の法則を理解している。また、発電所では、発電機を回転させることで発電を行っていることを理解している。(知) - 電流を流した導線のまわりに起きる変化について考察し、表現している。(思)(主)	確認テスト グループワーク
	6節 電磁波	2	○			電磁波が周波数の違いによって分類され、それぞれの性質に合わせて身のまわりでさまざまに利用されていることを理解している。(知)	確認テスト
学年末考查		1					
時数合計		70					

令和5年度 教科年間計画

教科	保健体育	2年	使用	【教科書】 現代高等保健体育
科目	体育	3単位	教材	【副教材】 現代高等保健体育ノート

科目の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【評価の観点】授業計画

(評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

評価の観点 (重点項目には)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができた。	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全についておおむね理解するとともに、技能を身に付けることができた。	左記の求められる基準に達していない。
思考力 判断力 表現力	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができた。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力をおおむね養うことができた。	左記の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができた。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養うことができた。	左記の求められる基準に達していない。

月	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
4	体づくり運動 (体ほぐしの運動) (体力を高める運動)	8				○集団行動や準備運動(ランニング・体操・ストレッチング)の意義を理解し意欲的に取り組んでいるか。(主) ○新体力テストを実施し、自分の体力的課題を認識し、解決に向けた具体的な方法を身に付けられたか。(思) ○スポーツの歴史的発展と変容 ・スポーツの歴史について理解出来ているか。(知)	
	体育理論①	1	○	○	○		
5	器械運動 (マット・跳び箱)運動	10	○		○	○技(前転、開脚前転、伸脚前転、後転、開脚後転、伸脚後転、倒立など)をしっかりと身に付け、それらの技能を高めることができたか。(知) ○自分の動きを分析し、自身で課題解決に向けていく能力を高めることができたか。(主)	
	ダンス						
6		12	○	○		○表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や班で、対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現しながら踊ることができているか。(知) ○グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫することができているか。(思)	

7	陸上競技 (走り幅跳び、ハードル、走り高跳び)	9	○		○	○必要な個人技術を高めることができたか。(知) ○自身の体力や技術的課題に応じた目標を設定し、実行・評価を繰り返す中で解決しようとする能力を高められたか。(主)	
8	球技 (バレーボール)	6	○	○		・個人技術 (サーブ、パスとレシーブ、トス、スパイク、ブロック等) をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(思・主)	
9	ソフトボール	11	○	○		・個人技術 (キャッチボール、バッティング等) の能力をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・ソフトボールのルールを理解した上で、身につけた技能を活用し、状況に応じたゲームができるように工夫することができたか。(思)	
	前期末考査	1					
10	体育理論②	1	○			・スポーツの技術、戦術、ルールの変化、スポーツの技術、戦術、ルールは用具の改良やメディアの発達に伴い変わること理解できたか。(知)	
11	武道 (柔道)	12	○	○		・基本動作 (姿勢と組み方、進退動作、崩しと体さばき、受け身など) や投げ技 (膝車、体落とし、大腰、内股、大外刈りなど) 固め技 (袈裟固め、横四方固め、上四方固めなど) を身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自分の特性を踏まえた上で、相手の安全を第一に考えながら約束練習ができるようになったか。(主)	
	体育理論③	1	○			・オリンピックムーブメントとドーピング オリンピックムーブメントによる国際親善や世界平和への役割を理解することや、ドーピングによるスポーツの文化的価値の喪失について理解することができたか。(知)	
12	球技 (バスケットボール)	10	○		○	・個人技術 (パス、ドリブル、シュート、フェイント、リバウンド等) をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。また集団技術 (速攻、マンツーマンディフェンス) をしっかりと理解し、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自己の課題の解決に向けて工夫したり、チーム内における自分の役割を果たせるように努めながらゲームに取り組む姿勢を持つことができたか。(主)	
1	軽スポーツ (バドミントン)	12	○		○	・個人技術 (ハイクリア、ドロップ・スマッシュ・ヘアピン等) 等の技術をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自己の課題の解決に向けて工夫したり、ペアにおける自分の役割を果たせるように努めながらゲームに取り組む姿勢を持つことができたか。(主)	
	体育理論④	1	○			・スポーツの経済的効果とスポーツ産業 現代のスポーツにおける経済的な波及効果やスポーツ産業について理解を深めることができたか。(思)	
	後期末考査	1					
2							
3	バレーボールリーグ戦	9		○	○	○身につけた技能を活用し、チーム内における自己の役割を果たせるよう努めながらゲームができるようになったか。(思・主)	
	時数合計	105					

令和5年度 教科年間計画

教科	保健体育	2年	使用	【教科書】 現代高等保健体育
科目	保健	1単位	教材	【副教材】 現代高等保健体育ノート

科目の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【評価の観点】授業計画

(評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

評価の観点 (重点項目には)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるか。	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、おおむね技能を身に付ける。	左記の求められる基準に達していない。
思考力 判断力 表現力	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っているか。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力をおおむね養っている。	左記の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っているか。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養っている。	左記の求められる基準に達していない。

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
安全な 社会生活	1 ライフステージと健康	2	○			現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 (7) 健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりに関わることが理解できる。 (1) 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。	単元テスト 及び 学習ノート
	2 思春期と健康	1	○		○		
	3 性意識と性行動の選択	2	○				
	4 妊娠・出産と健康	1	○				
	5 避妊法と人工妊娠中絶	2	○				
	6 結婚生活と健康	2	○		○		
	7 中更年期と健康	1	○				
	8 働くことと健康	1	○				

生涯を通 じる健康	9 労働災害と健康	1	○			その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要であることが理解できる。 (ウ) 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることが理解できる。 (エ) 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることが理解できる。 (オ) 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることが理解できる。 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。 (イ) 環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動や自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることが理解できる。 (ロ) 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることが理解できる。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができる。	単元テスト 及び 学習ノート
	10 健康的な職業生活	2		○			
	前期期末考査	1		○			
	1 大気汚染と健康	1		○			
	2 水質汚濁、土壌汚染と健康	3	○				
	3 環境と健康にかかわる対策	2	○				
	4 ゴミの処理と下水道の整備	2					
	5 食品の安全性	2	○				
	6 食品衛生にかかわる活動	2	○				
	7 保健サービスとその活用	1	○				
	8 医療サービスとその活用	1	○	○			
	9 医薬品の制度とその活用	1	○				
	さまざまな保健活動や社会的対策	1	○				
	健康に関する環境づくりと	2	○				
	11 社会参加	2	○				
	学年末考査	1					
	時数合計	35					